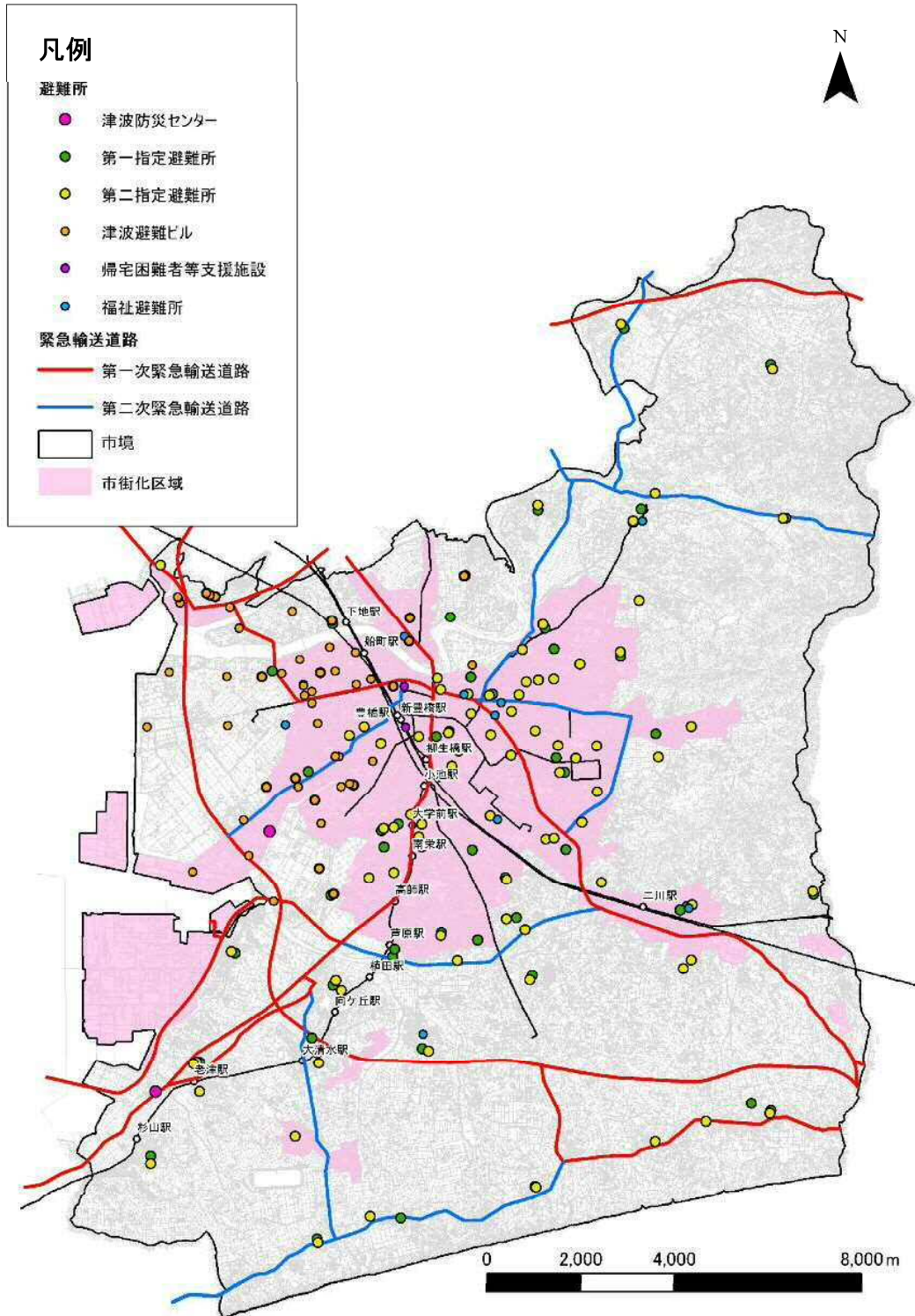


(2) 緊急輸送道路等の指定状況

- 広域を結ぶ幹線道路、及びそれらと本市中心部等を結ぶ都市の骨格的な幹線道路により、緊急輸送道路のネットワークが形成されているが、一部に未整備区間や混雑区間がみられる。
-

- ・ 広域を結ぶ幹線道路として、大規模災害時に県庁、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連結し、物資輸送や避難に利用すべき第1次緊急輸送道路として、東名高速道路、名豊道路をはじめとする高速自動車国道、地域高規格道路、主要幹線道路が指定されています。
- ・ 第1次緊急輸送道路と市役所や主要な防災拠点（行政機関、公共機関、港湾、災害医療拠点等）を連絡する第2次緊急輸送道路として、都市幹線道路、地区幹線道路等が指定されています。
- ・ 名豊道路など、緊急輸送道路の一部には未整備区間が残されており、また道路の混雑度が2以上の区間もみられます。

図表 緊急輸送道路等の指定状況(H27 緊急輸送道路、H30 避難所)



※愛知県における緊急輸送道路の定義

- ・ 第1次緊急輸送道路：県庁、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連結する道路
- ・ 第2次緊急輸送道路：第1次緊急輸送道路と市区町村役場、主要な防災拠点（行政機関、公共機関、港湾、ヘリポート、災害医療拠点、自衛隊等）を連絡する道路

（出典：国土数値情報、豊橋市防災危機管理課）

(3) 老朽建物の分布状況

- 市街化区域内のうち、比較的初期に市街化が進んだ地域など一部においては、耐震基準改正以前に建築された建築物が多く立地している。

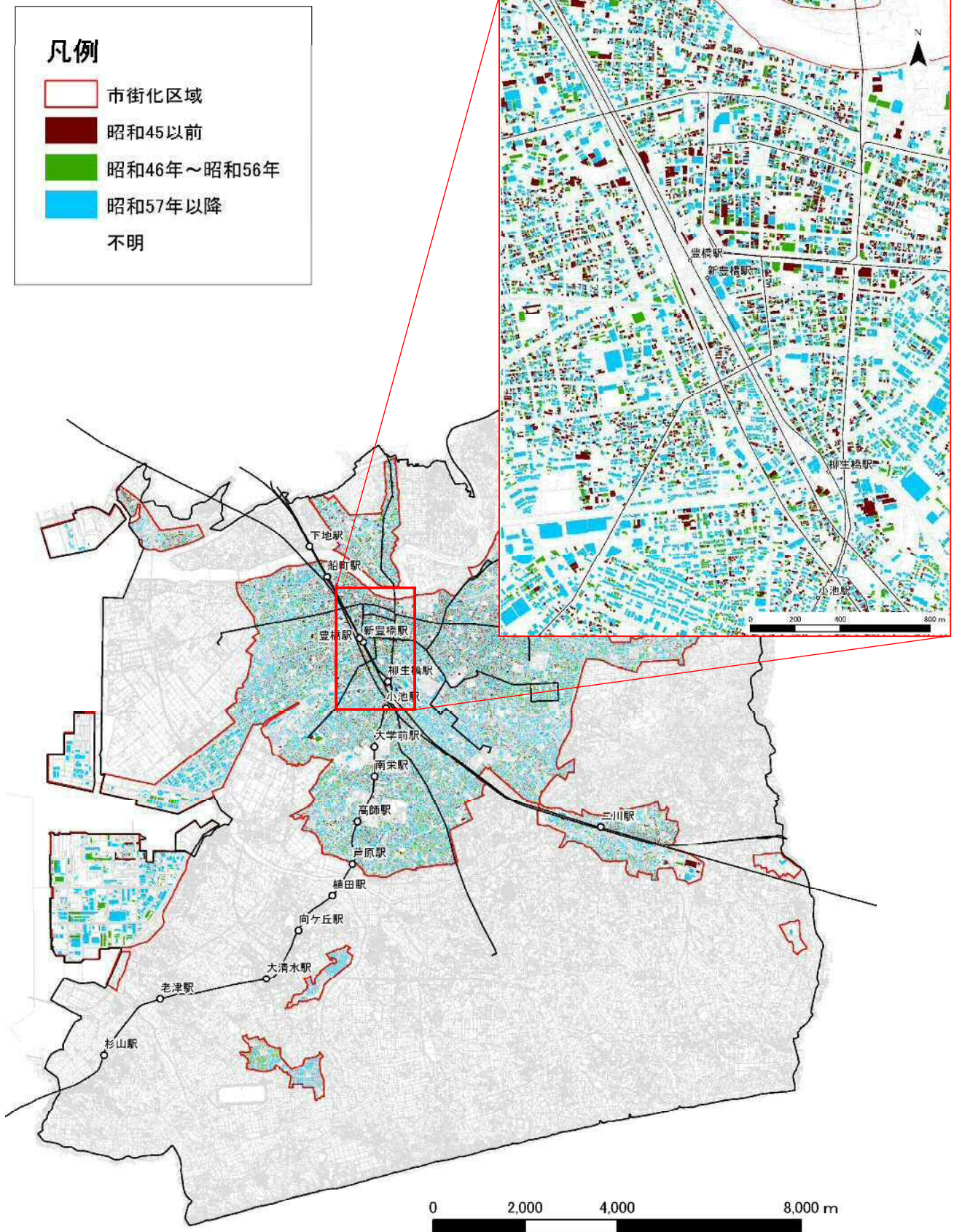
- ・建築物の防災性を、建築年度と耐震基準の関係からみると、昭和45年以前に建てられた建築物は昭和46年の耐震基準制定以前の建築物に相当、また、昭和46年以降昭和56年までに建てられた建築物は、概ね新耐震基準制定（昭和56年）前の建築物に相当します。
- ・市街化区域内において、こうした耐震基準の制定・改正前に建築された家屋を棟数ベースでみると、昭和46年耐震基準前の家屋が17,992棟（13%）、昭和56年新耐震基準前の家屋が25,394棟（18%）立地しています。
- ・その分布をみると、豊橋駅周辺から東にかけての、昭和45年DIDの区域周辺において、特に昭和45年以前の家屋の分布が目立っています。

図表 市街化区域における建築年代別の内訳(H29)

		棟数(棟)	比率(%)
昭和45年以前	棟数(棟)	17,992	13%
	建築面積(m ²)	1,233,387	10%
	延床面積(m ²)	1,753,943	8%
昭和46年～昭和56年	棟数(棟)	25,394	18%
	建築面積(m ²)	2,074,189	16%
	延床面積(m ²)	3,147,268	15%
昭和57年以降	棟数(棟)	68,746	48%
	建築面積(m ²)	7,054,493	55%
	延床面積(m ²)	12,722,611	60%
不明	棟数(棟)	31,315	22%
	建築面積(m ²)	2,553,628	20%
	延床面積(m ²)	3,705,442	17%
合計	棟数(棟)	143,447	100%
	建築面積(m ²)	12,915,698	100%
	延床面積(m ²)	21,329,263	100%

(出典：都市計画基礎調査)

図表 建築年代別の建築物分布状況 (H29)



(出典:都市計画基礎調査)

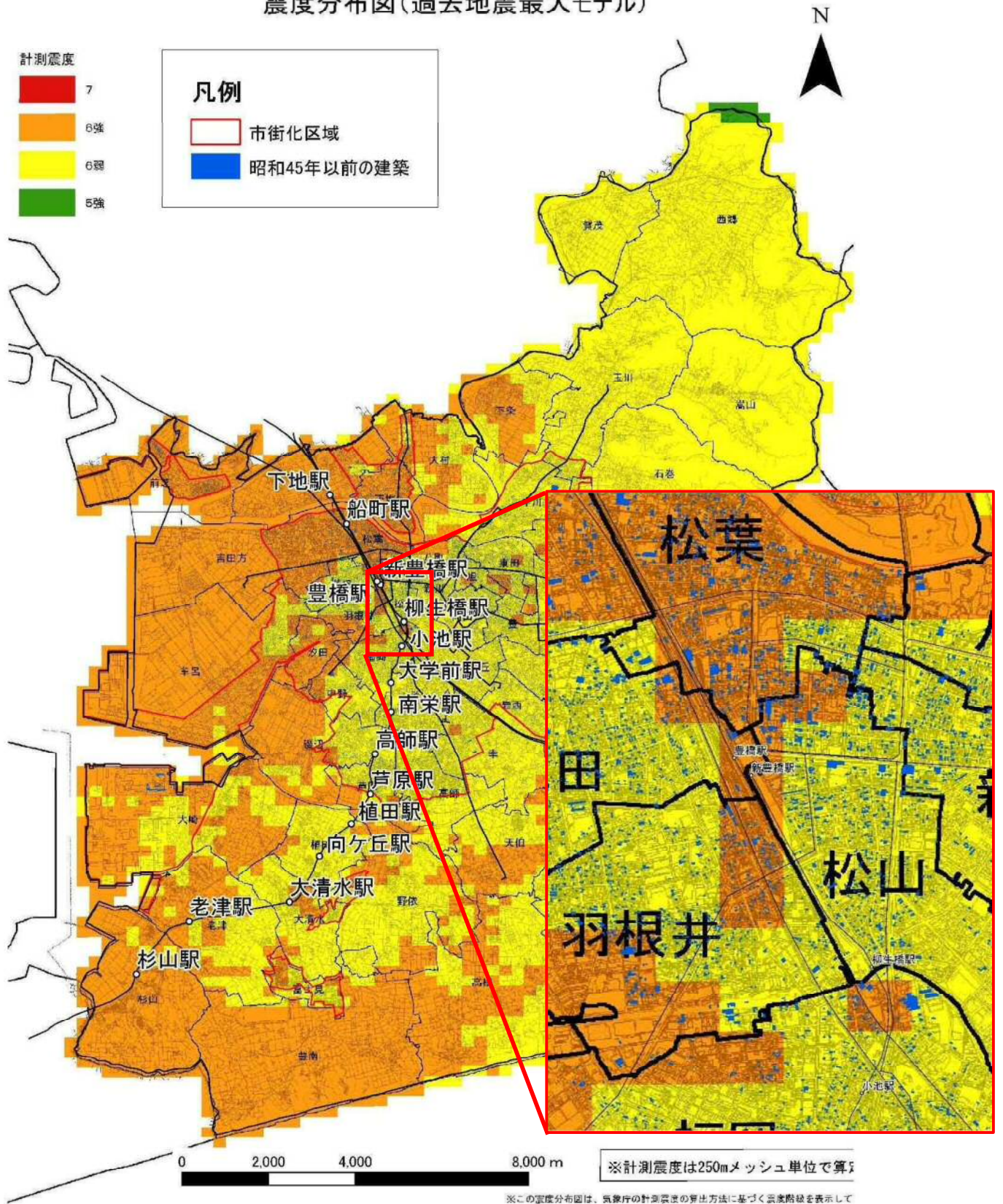
(4) 災害リスクの把握

- 豊橋駅周辺から東側にかけての範囲内では、地震が起きる際の危険性が大きい。
-

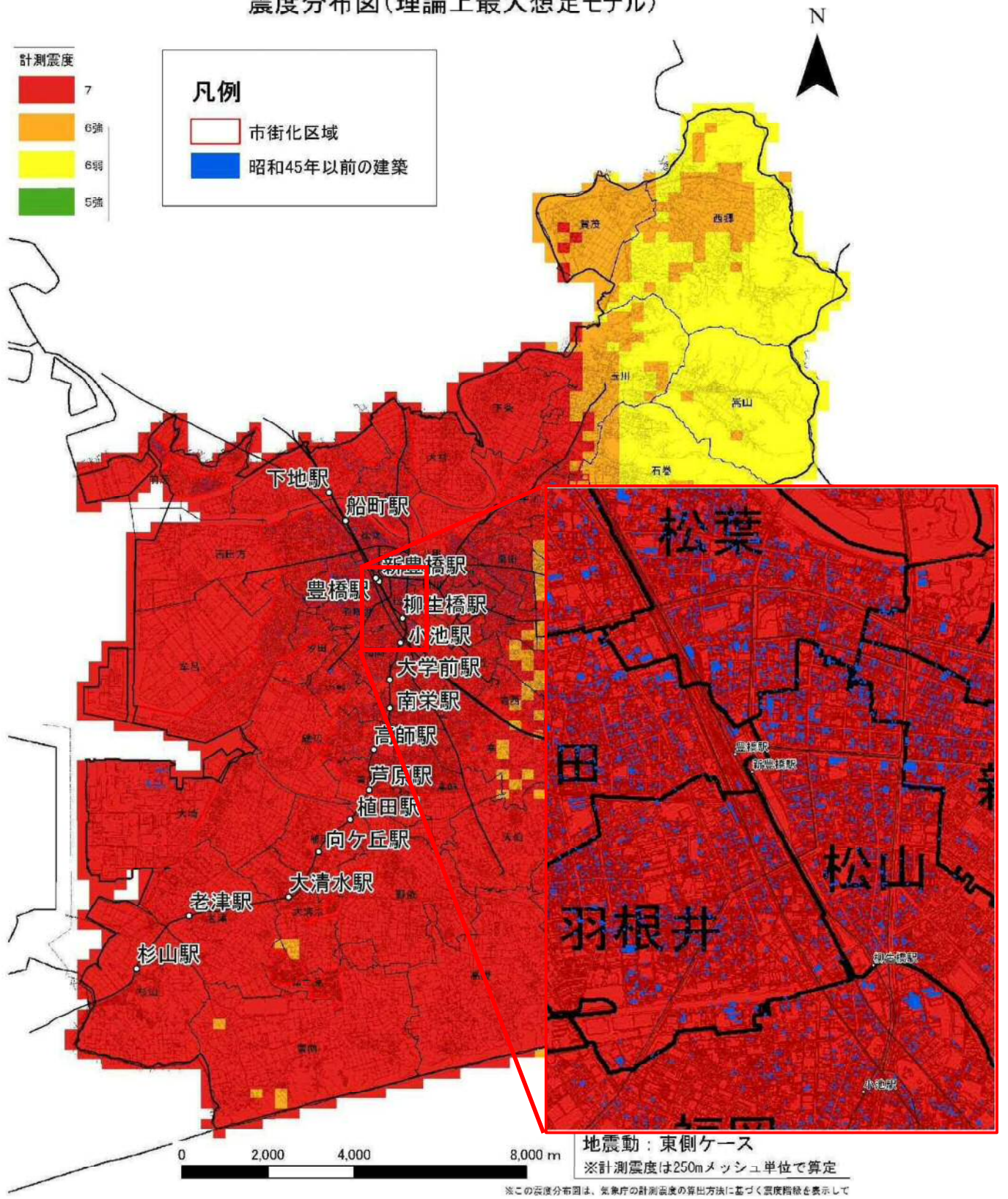
- ・ 本市の市街化区域内の老朽化建物の分布みると、豊橋駅周辺から東側にかけて、昭和 45 年以前の建物の分布が目立っています。また、豊橋駅周辺では、震度 6 強以上の揺れがみられることから、大きな地震が起きる際に、その周辺は家屋が倒れるリスクが大きくなります。

図表 震度分布と老朽化建物分布 (H29)

震度分布図(過去地震最大モデル)



震度分布図(理論上最大想定モデル)



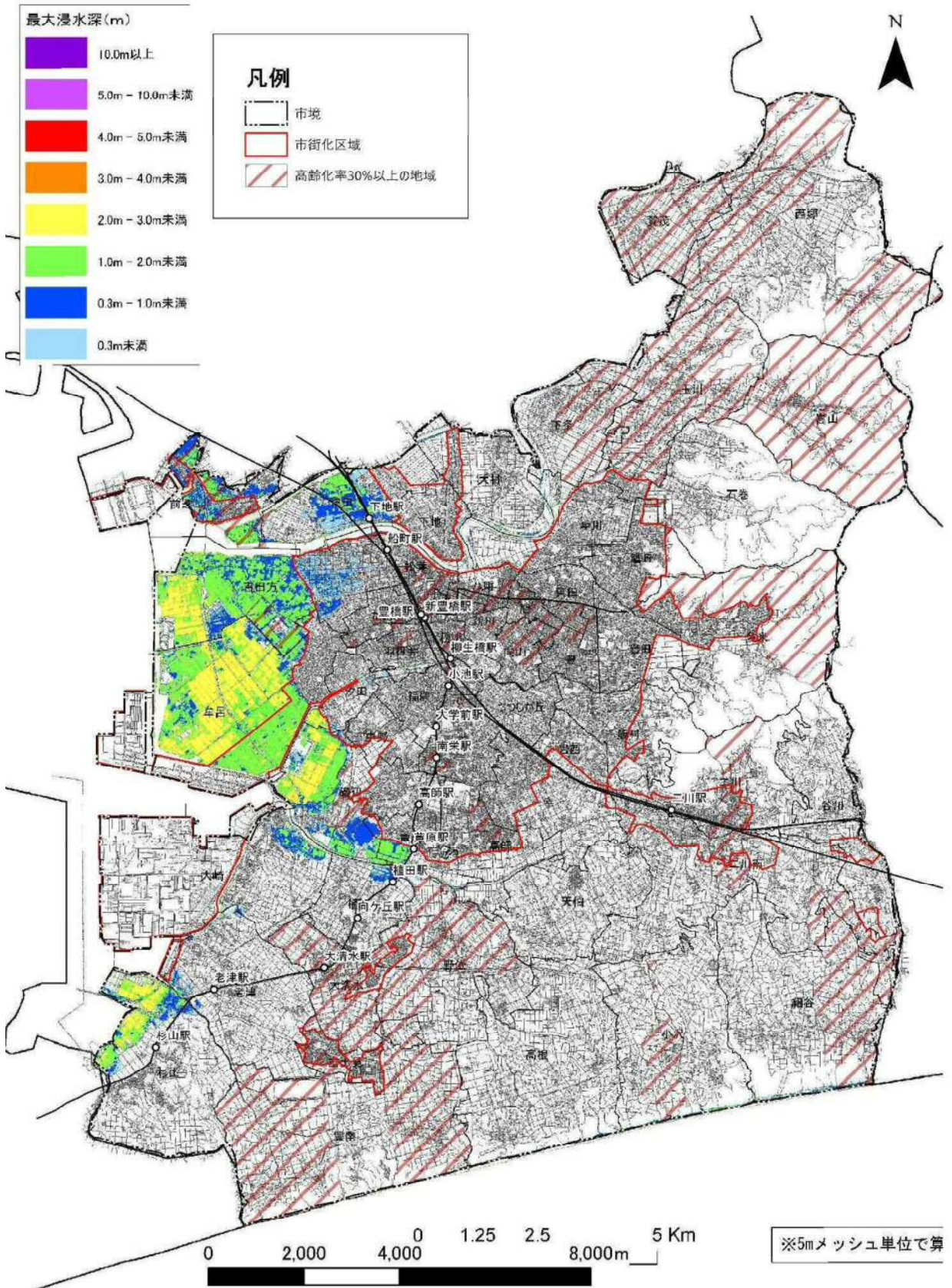
(資料：豊橋市防災危機管理課、都市計画基礎調査)

●西側の三河湾の沿岸低地部において、津波によるリスクは高くなることが想定される。

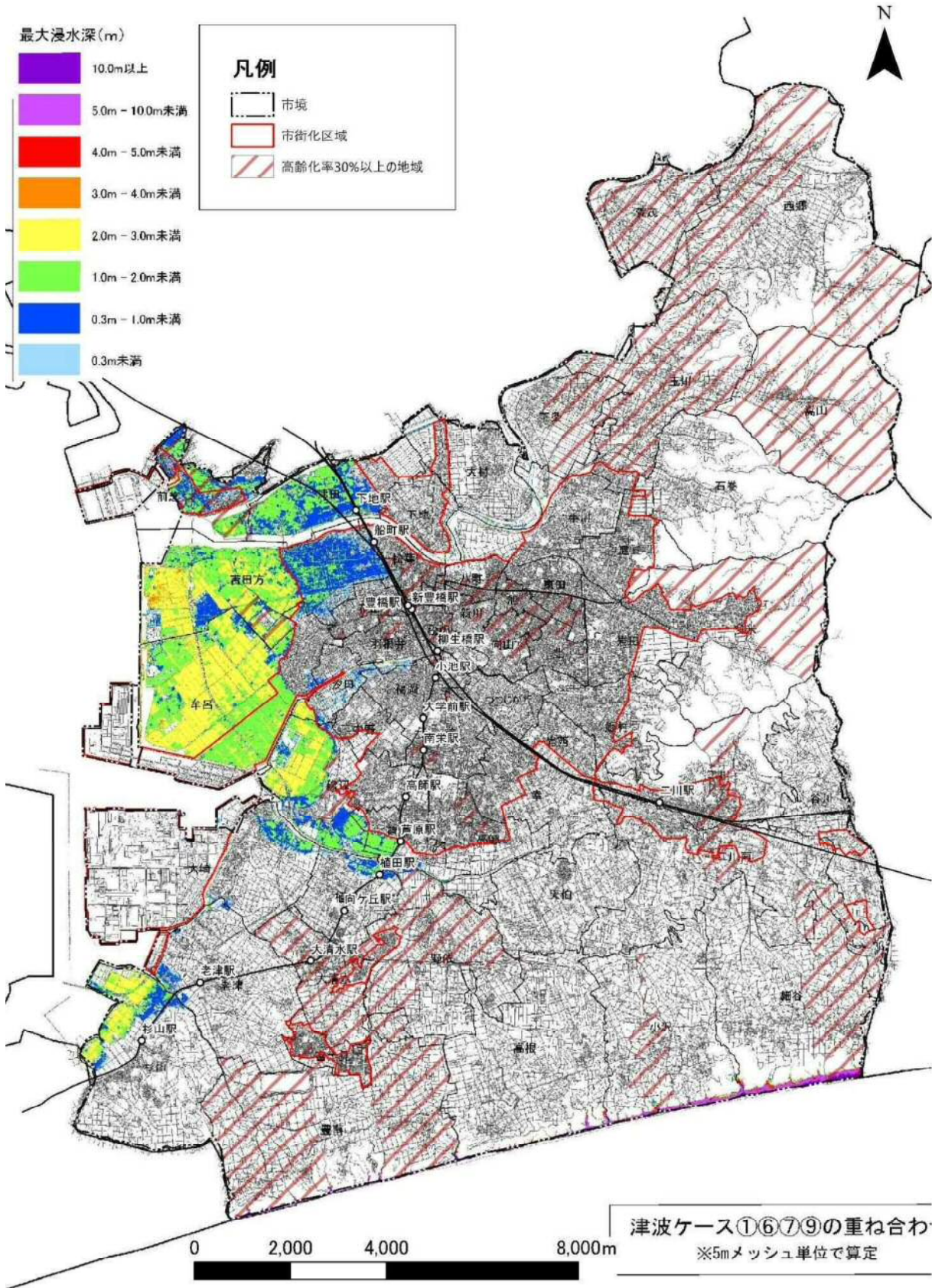
- ・西側の三河湾の沿岸低地部に津波浸水区域の中で、高齢化率が 30%を超えた地域もあることから、それらの地域においては津波によるリスクは高いと想定されます。

図表 津波浸水想定域及び浸水深分布と高齢化率 (H27)

津波浸水想定域及び最大浸水深分布図(過去地震最大モデル)



津波浸水想定域及び最大浸水深分布図(理論上最大想定モデル)



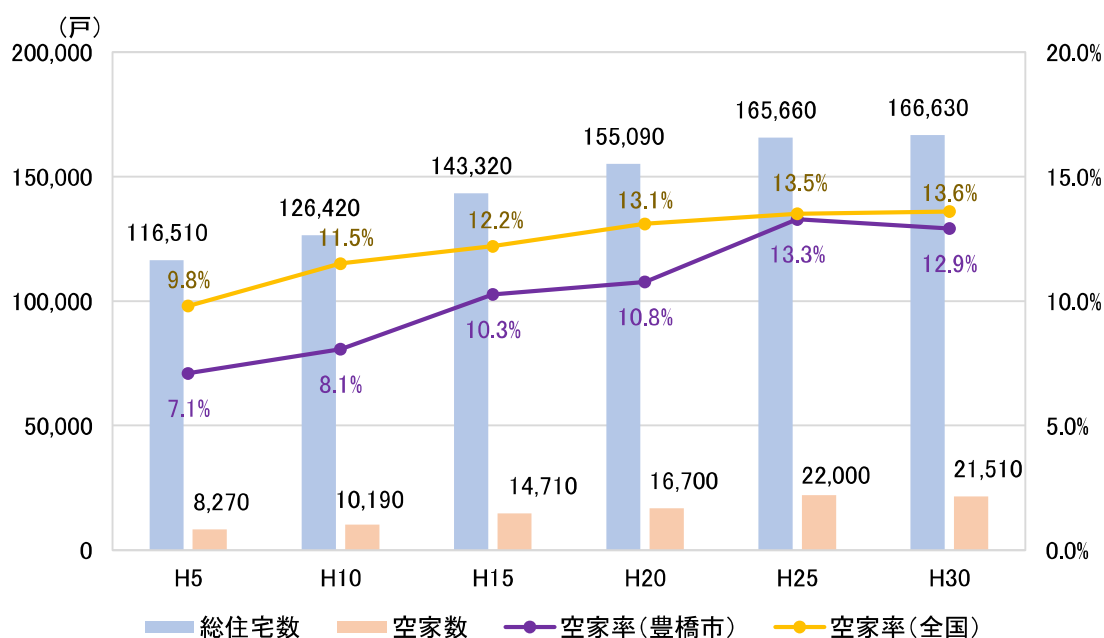
(資料：豊橋市防災危機管理課、国勢調査)

(5) 空家の状況

- 本市の空家率は全国の空家率を下回っており、平成 25 年から空家率の減少がみられる。
- 空家のうち、その他の一戸建て住宅は平成 25 年より大幅に増加している。

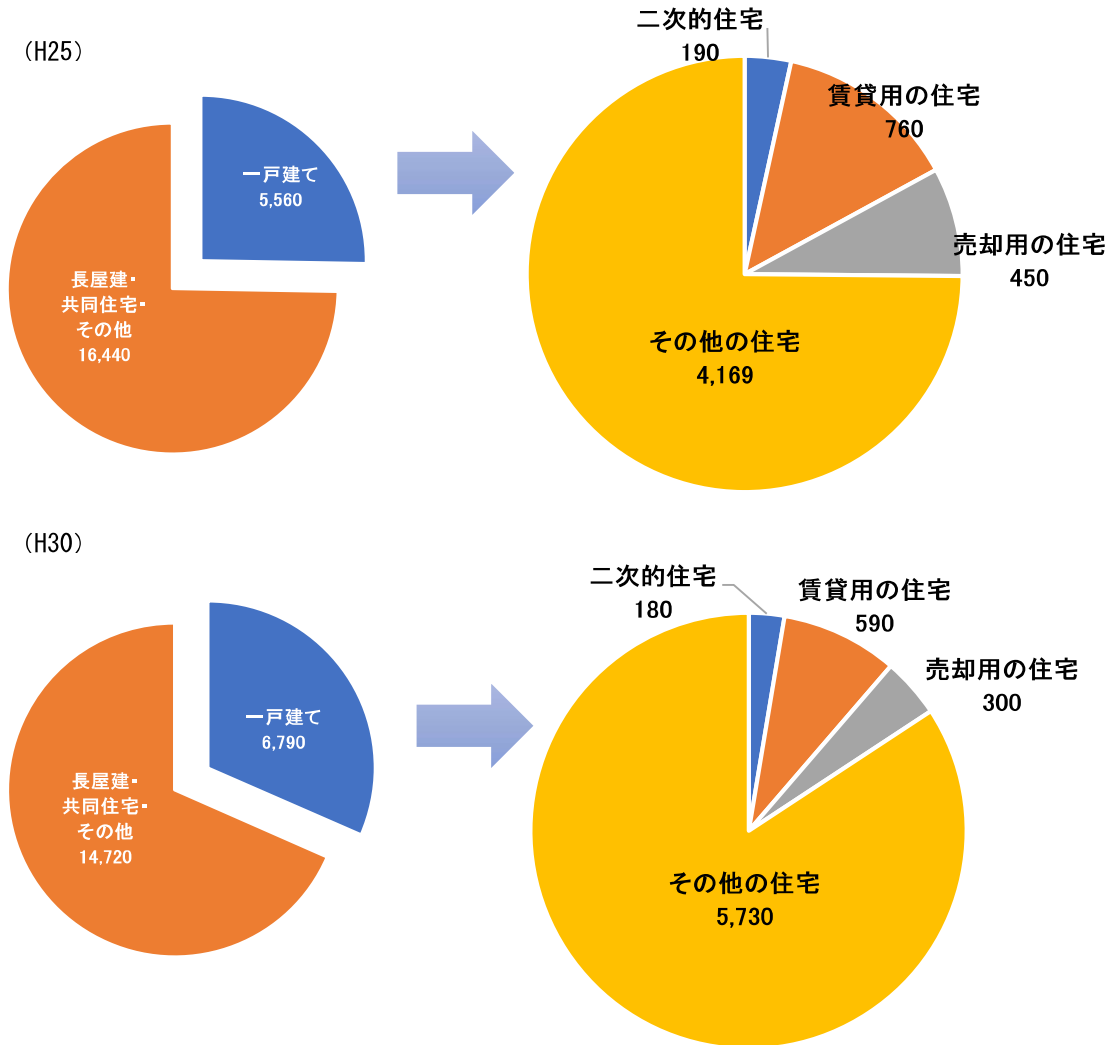
- ・住宅・土地統計調査によると、平成 30 年に本市の空家率は 12.9%であり、平成 25 年の 13.3%から減少に転じています。平成 25 年に本市の空家率は全国の空家率と概ね同程度になっていましたが、全体的に全国の空家率を下回っています。
- ・一方、空家の内訳からみると、長屋建・共同住宅・その他の空家数は減っていますが、一戸建の空家数は増加しています。また、一戸建空家のうち、賃貸用住宅と売却用住宅は大きく減少しているのに対し、その他の住宅は大幅に増加しています。

図表 総住宅数、空家数及び空家率の推移



(資料:住宅・土地統計調査)

図表 空家の内訳



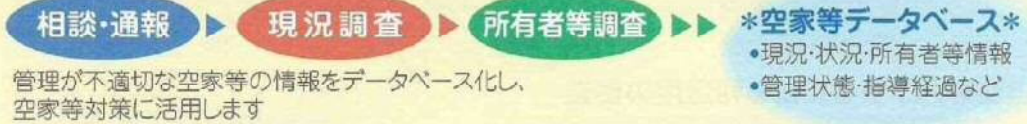
※住宅・土地統計調査における空家数は住戸の数であるため、長屋建・共同住宅等の場合は建物全体が未利用となっているとは限りません。このため、この項においては一戸建の空家を対象として記載することとします。

(資料:住宅・土地統計調査)

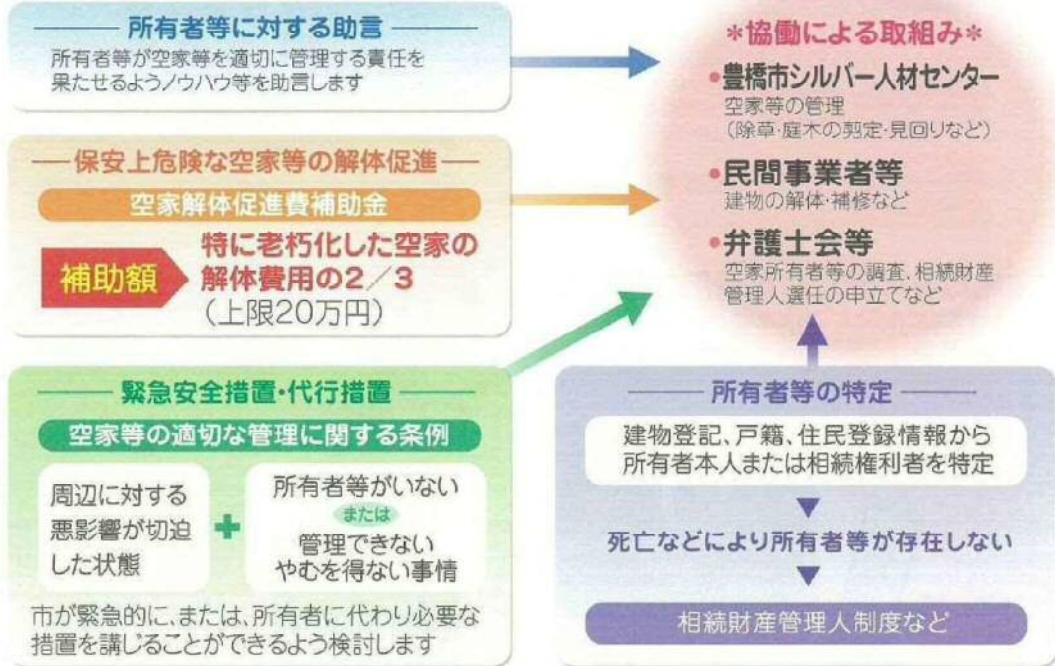
図表 空家等対策アクションプラン概要

アクションプラン① 空家等の適切な管理の促進

適切に管理されていない空家等の把握



空家等の適切な管理のための支援等



特定空家等に対する措置

再三に渡って助言又は指導を行っても状態が改善されない場合には、「特定空家等」として空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく勧告等の措置を行います

「特定空家等」として判断される状態

- ・そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態
- ・そのまま放置すれば著しく衛生上有害となるおそれのある状態
- ・適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態
- ・その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態

「特定空家等」に対する措置のフロー



アクションプラン ② 空家等の利活用の促進

所有者等の意向等の把握

所有者の意向

売りたい・貸したい



マッチング

利用者のニーズ

買いたい・借りたい

空家バンク等による利活用の促進

住宅市場での流通促進

空家バンク 貸したい・売りたい空家を市のホームページで紹介・取引を支援します

利活用を促す環境整備

空家利活用改修費補助金 補助額 空家バンク登録物件改修費用の1/2 (上限50万円)

空家の安心取引 建物状況調査等の促進

民間事業者等との連携

- 不動産業団体
 - 建設業団体
 - 金融機関 など
- との協働の仕組みづくり

空家除却後の跡地活用

所有者の意向や都市計画などとの整合を図り有効活用方策を検討します

住宅以外の新たな利活用方策の開拓

- 空家等を地域資源として有効活用します
- 新たな施設ニーズと利活用可能な空家等とのマッチングを図ります



Case.1 高齢者の活動拠点づくり

「前芝カフェ やっちゃん」(前芝町)

Case.2 まちなみ形成と地域コミュニティの活性化

「学生シェアハウス」 & 「地域のコミュニティスペース」(二川町)

Before After

アクションプラン ③ 空家等の発生予防・抑制

空家等の発生予防・抑制のための啓発

市民意識の涵養

- 空家等の放置が周辺住民の迷惑につながります
- 相続発生後のあいまいな処理が将来のトラブルにつながります
- 空家の利活用が地域の活力につながります

地域や、空家所有者等のより身近な環境で空家を見守る仕組みづくりを行います

相談への対応 …… 様々な分野にまたがる相談等に対応できる体制の充実を図ります

総合相談窓口
【建築物安全推進室】

情報共有

利活用に関する相談【住宅課】

連携

専門家による相談窓口

- 法律相談(弁護士会)
- 相続登記相談(司法書士会)
- 住宅・建築相談(愛知建築開発等行政推進団体協議会)
- 不動産相談(宅建業協会)
- その他

協働による取組み

豊橋市役所 建築物安全推進室 (市役所東館3階)

Tel.(0532)51-2872 Fax.(0532)56-3815 E-mail kenchikuanzen@city.toyohashi.lg.jp

豊橋 建築安全

検索

(資料:平成29年豊橋市空家等対策計画・概要版)

10. 財政

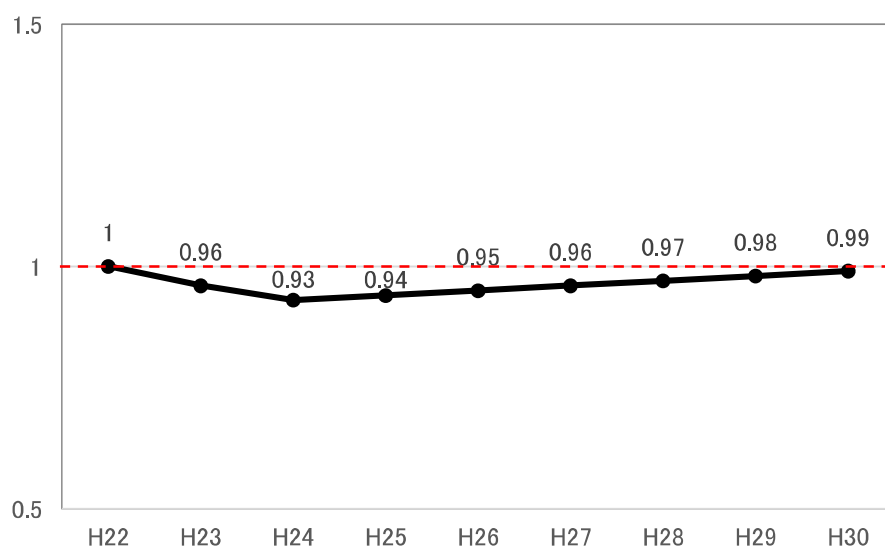
(1) 財政力指数

- 財政力指数は平成 23 年に 1.0 を割り込んだ後、徐々に回復基調にあり、平成 30 年には 0.99。東三河都市計画区域のなかでは田原市に次ぐ水準にある。

- ・ 平成 22 年以降の財政力指数の推移をみると、平成 22 年の 1.0 から、その後 0.93 まで低下したのち、徐々に回復基調にあり、平成 30 年には 0.99 となっています。
- ・ 平成 28～30 年の 3 年間の平均で東三河都市計画区域の市の比較をすると、田原市が 1.09 と最も高く、次いで本市 0.99、豊川市 0.88、蒲郡市 0.88、新城市 0.58 であり、東三河地域内では比較的高い水準ではあるものの、財政需要額が財政収入額を上回ることから、財源の余裕度が十分とはいえない状況にあります。

※財政力指数：地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去 3 年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

図表 財政力指数



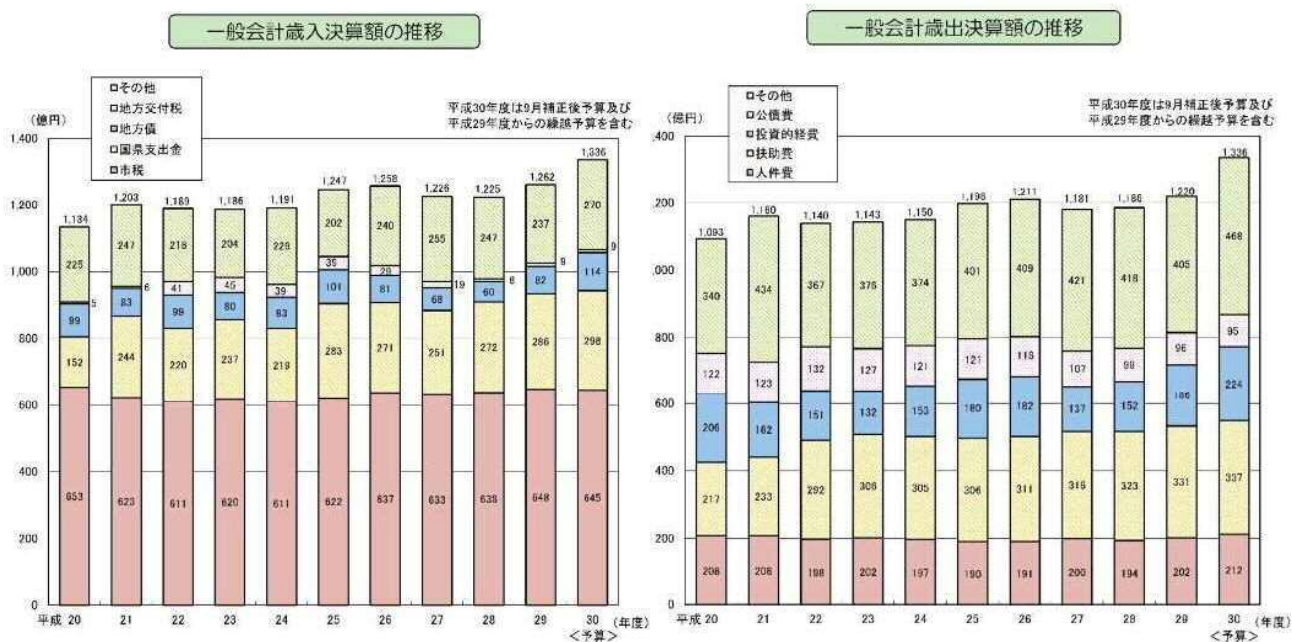
(出典：総務省 地方公共団体の主要財政力指標一覧)

(2) 歳入・歳出の状況

- 歳入の約半分を占める市税について、ほぼ横ばい状況にあるなか、歳出面では扶助費が増大傾向にある。

- ・平成30年度の本市の財政規模は1,336億円で、20年度からの推移をみると徐々に財政規模が増大する傾向にあります。
- ・歳入内訳をみると、自主財源として歳入の約半分を占める市税は600億円前後ほぼ横ばい状況にあるのに対し、国や県の支出金が増加傾向にあります。また、歳出のなかでは、扶助費が一貫して増加傾向にあり、平成20年度の217億円から30年度には1.55倍の337億円になっています。

図表 歳入・歳出状況



(出典:平成30年度豊橋市行財政白書)

(3) 公共施設維持更新費

●今後約 50 年間の公共施設の維持・更新のための年間費用は、現在の年間の投資的経費を上回るものとなる見込みであり、施設の長寿命化等の対策によりコスト削減が図られている。

- ・ 今後 50 年間で、道路、河川、上下水道などのインフラ施設や公共建築物の維持・更新のために年平均約 349 億円が必要と推計されており、これは平成 30 年度の投資的経費 337 億円を上回る負担になります。
- ・ これに対し、施設の長寿命化等の措置を講じて経費を削減することにより、年平均の負担額は約 268 億円となる見通しです。

図表 公共施設の維持・更新費用の資産一覧表

(億円)

区分	長寿命化等 実施前		長寿命化等 実施後		削減効果
	総額 (50年間)	年平均	総額 (50年間)	年平均	年平均
建物	約4,700	約94	約3,000	約78	約16
橋りょう	約660	約13	約360	約7	約6
道路 ^(注1)	約2,230	約56	約2,230	約56	—
河川等 ^(注2)	約900	約18	約860	約17	約1
小計 (一般会計分)		約181		約158	約23
水道施設	約3,150	約63	約1,930	約39	約24
下水道施設 ^(注3)	約5,240	約105	約3,550	約71	約34
総計		約349		約268	約81

(注1) 長寿命化の試算は行っていません。総額は40年間で試算しています。

(注2) 排水機場のみ長寿命化の試算を行っています。

(注3) 一部の施設で長寿命化等の試算を行っています。

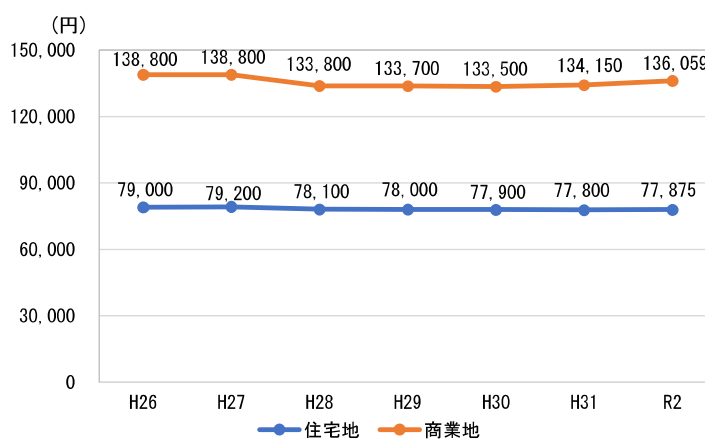
(出典:平成 29 年豊橋市公共施設等総合管理方針)

(4) 地価の動向

● 徐々に下落傾向がみられるものの、東三河都市計画区域内では最も地下水準が高い。

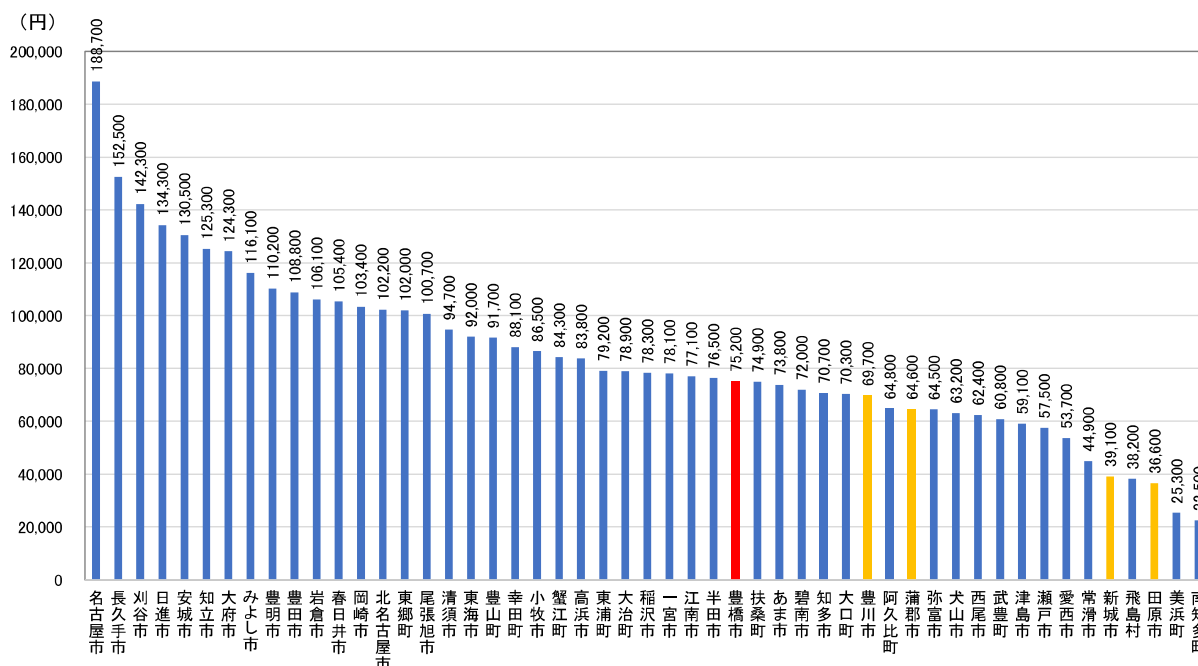
- ・ 市内の住宅地、商業地の地価（㎡あたり）の平成 26 年から令和 2 年にかけての推移をみると、住宅地では 79,000 円から 77,875 円へ（減少率 1.4%）、また商業地では 138,800 円から 136,059 円へ（減少率 2%）と、いずれもわずかながら下落傾向がみられます。
- ・ 住宅地について県内都市比較をすると、東三河都市計画区域内では本市が最も高い水準にあります。JR 東海道本線沿線の主な都市との比較では、岡崎市（103,400 円）、安城市（130,500 円）、刈谷市（142,300 円）、大府市（124,300 円）等と比較すると 20~50%低い水準にあり、地価水準が類似した都市は半田市（76,500 円）、扶桑町（74,900 円）等が挙げられます。

図表 豊橋市住宅地地価の動向



(出典: 地価公示)

図表 愛知県内都市の住宅地地価の比較 (R2)



(出典: 地価公示)

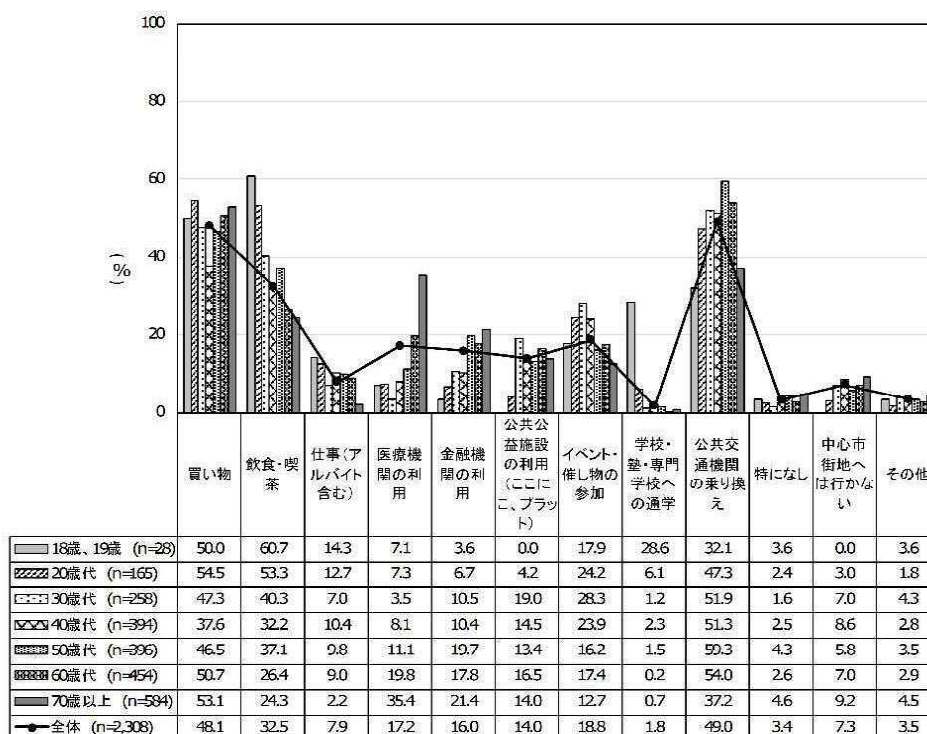
11. 市民意識・市民活動

(1) 中心市街地について市民意識の把握

- 「公共交通機関の乗り換え」が主な目的で中心市街地に行く人が多い。
- 中心市街地の活性化を図るには、「魅力ある商業・サービス業の開業促進」は重要である。
- 地域の生活環境について、「公園」の利便性や「自然環境の豊かさ」の快適性に満足している人が多いことに対し、「公共交通」の利便性と「景観整備」の快適性について不満に思っている人が多い。

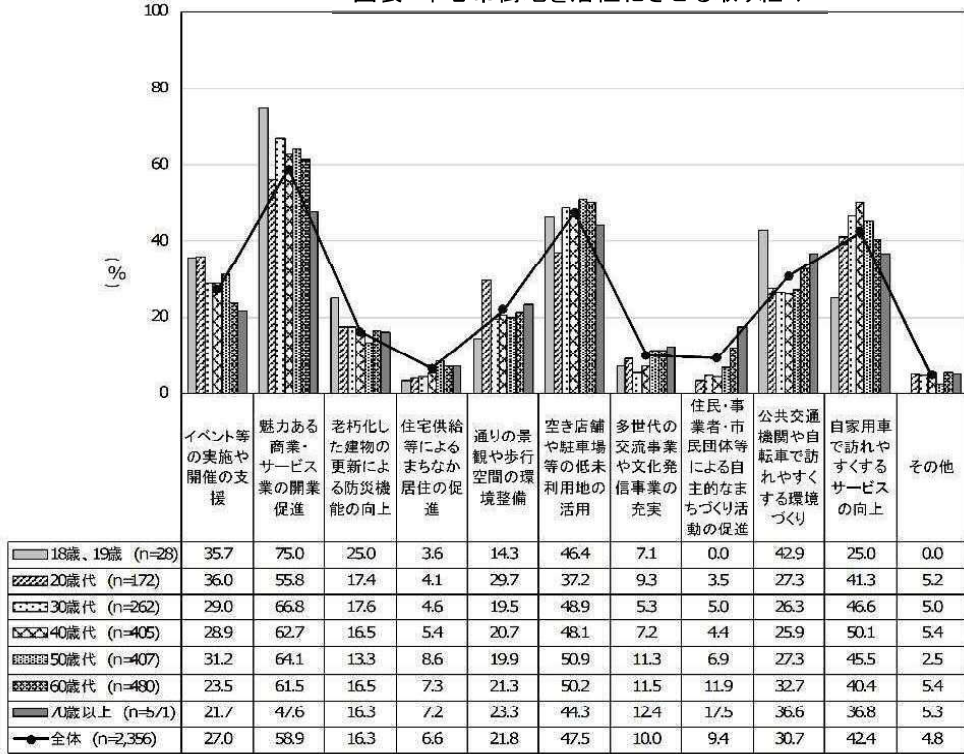
- ・ 令和元年度に実施した市民意識調査の結果によると、市民が中心市街地に行く場合の主な目的として、全体的に「公共交通機関の乗り換え」は最も多く挙げられます。その次は「買い物」と「飲食・喫茶」です。
- ・ 中心市街地を活性化させるには、重要な取り組みとして挙げられたのは「魅力ある商業・サービス業の開業促進」、「空き店舗や駐車場等の低未利用地の活用」、「自家用車で訪れやすくするサービスの向上」といった意見です。また、若い世代から、「通りの景観や歩行空間の環境整備」という意見も多く挙げられています。
- ・ 地域の生活環境の利便性をみると、「公園」に満足している人が最も多く、約 47%を占めています。その次は「コミュニティ施設」です。一方、「公共交通」について、不満に思っている人が多いです。
- ・ 地域の生活環境の快適性をみると、「自然環境の豊かさ」と「下水道の整備」に満足している人が多いが、「景観整備」について不満に思っている人が比較的に多いです。

図表 中心市街地へ行く主な目的



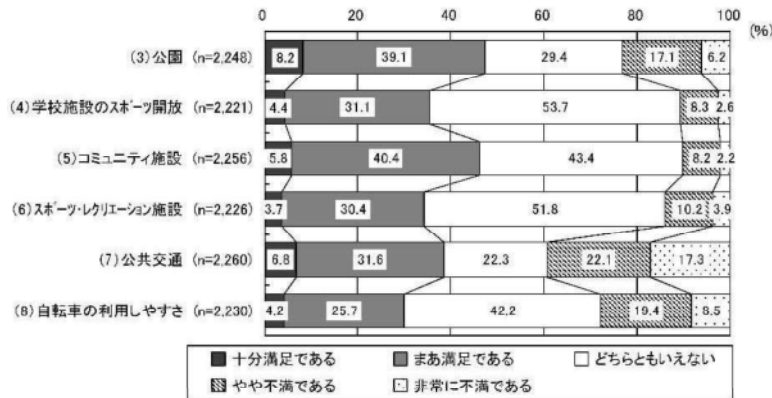
(資料: 令和元年度市民意識調査報告書)

図表 中心市街地を活性化させる取り組み



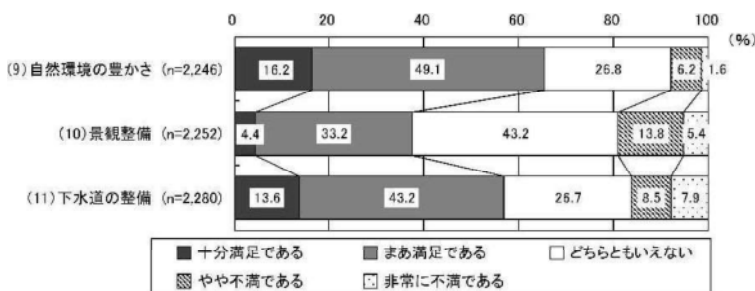
(資料: 令和元年度市民意識調査報告書)

図表 地域の生活環境の利便性に対する満足状況



(資料: 令和元年度市民意識調査報告書)

図表 地域の生活環境の快適性に対する満足状況



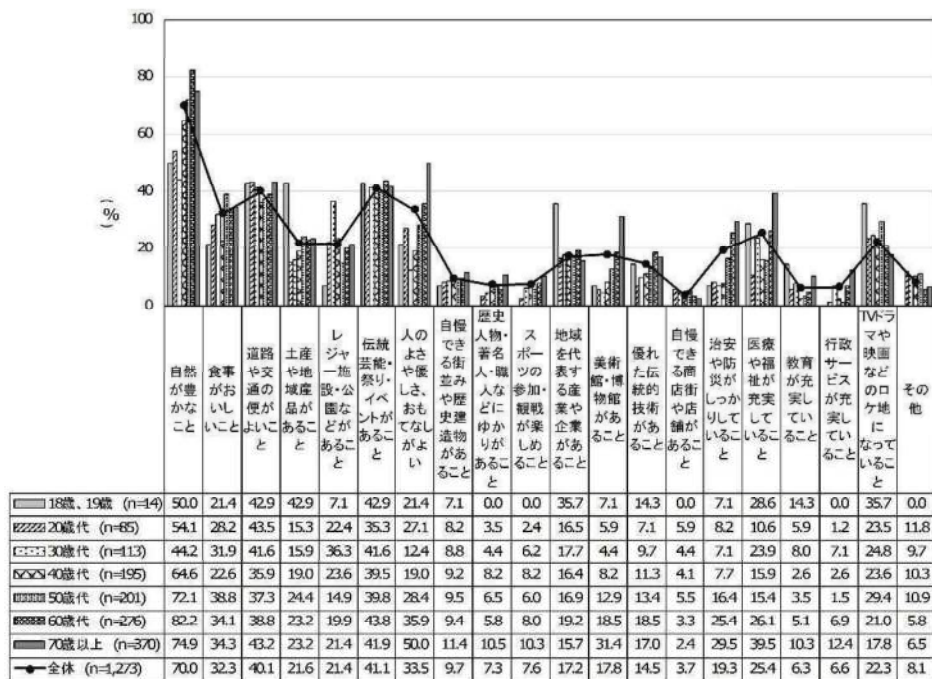
(資料: 令和元年度市民意識調査報告書)

(2) 産業について市民意識の把握

- 若い世代の中で、「地域を代表する産業や企業があること」に対し自慢に思っている人が比較的が多い。

- ・本市の自慢できることについての結果をみると、18歳、19歳の若い世代の中で、「土産や地域産品があること」と「地域を代表する産業や企業があること」に対し、自慢に思っている人が多いです。

図表 豊橋市の自慢できること



(資料: 令和元年度市民意識調査報告書)

(3) NPO まちづくり活動

- 市内において、まちづくりの NPO 団体は数多く存在し、それぞれ活動を行っている。
 - NPO 団体は主に健康づくり、高齢者支援、子育て支援、自然環境などについて活動を行っている。
-

- ・本市において、まちづくりの NPO 団体は計 58 団体があります。主に市内の施設を活用し、地域のコミュニケーション、住民同士の助け合い、高齢者・子育て・障がい者などの支援といった目的を図る活動をしています。また、本市の歴史、文化、自然を守る NPO 団体もあり、地域のイベントを企画したり、参加したりしています。増加しつつある外国人住民に向けて、様々な支援事業を進める NPO 団体もあります。

図表 まちづくりに関するNPO活動

カテゴリー	番号	団体	活動内容
健康づくり	1	らく楽クラブ	1.健康体操 2.脳トレ 3.レクリエーション
	2	チャボクラブ	1.ふれあい 2.健康の維持、増進 3.文化活動
	3	前芝カフェ運営委員会	認知症予防のために友達とお茶を飲みながら笑いのある話が出来る場づくり、軽い健康体操をして長生きできる場を提供する。二か月に1度活動報告会を実施している。 1.おしゃべり 2.健康体操 3.野菜作り 4.買い物 5.手芸 6.マジック など
	4	fusion～こころとカラダ～	1.スポーツ教室…運動を通じて?強い心体?積極性?思いやりの心を健やかに育み、ココロとカラダを共に成長させる。 2.エクササイズ教室…「なりたい自分」に向けてステップアップするサポートを行なう。 3.イベント、勉強会…競技レベル向上、健康づくりのための情報発信を行なう。
	5	鷹丘歩こう会	1.ウォーキングの開催 2.ウォーキングに関する健康づくりに関する講座の開設 3.ウォーキングを通じた仲間づくりの推進など
高齢者支援	6	あさひ元気会	1.お年寄りの居場所、生きがい会員相互の絆作り。 2.参加する住民・高齢者の意思を尊重し、地域社会の発展に寄与する。 3.住民のために必要な事項に関すること。
	7	一般社団法人松ぼっくり	1.高齢者、障がい者、疾病者の健康維持および増進事業 2.子どもの健全育成と発達支援事業 3.多文化共生に基づく事業 4.ボランティアの養成及びコーディネート事業 5.ボランティア登録派遣事業 6.保険、医療又は福祉に関する各種研修事業 7.保険、医療又は福祉に関する教育事業 8.保険、医療又は福祉に関する連携推進事業 9.市民協働のまちづくりに関する事業 10.地域産業の持続及び再成に関する事業 11.地域コミュニティの再興に関する事業 12.前各号に掲げる事業に附帯又は関連する一切の事業
	8	特定非営利活動法人ちえるぼとてとりん	1.アロマタッチケア活動 2.アロマセラピスト育成事業 3.介護に関わる必要のための講習会事業
子育て支援	9	子育てシェア 東海ママサポーター 豊橋チーム	1.伝える活動：居住地域やイベント開催地などで、子育てシェアや取り組みを伝える。 2.繋ぐ活動：子育てを頼りたい親子と支援したい人・団体をつなぐ。 3.預かる活動：子育てシェアを使った託児・送迎と、そのための情報発信を行う。 4.事業内容：地域交流会や託児体験会等の開催。子育て支援者・団体とのコラボイベント等の開催。対面・オンラインでの情報発信。
	10	豊橋市肢体不自由児(者)父母の会	1.相談支援事業⇒障害児者の日常生活の改善・要望に対する意見聴取、行政との意見交換会・勉強会の開催。相談員7名による相談業務ほか 2.啓発事業⇒会報「父母の会だより」を発行し、諸情報の提供。福祉施設訪問による自己啓発。 3.市、社会福祉協議会、善意銀行、豊隣連等主催行事への参加 4.会員親睦行事⇒クリスマス会、野外療育訓練ほか
	11	難病の子ども支援東海ネットワーク	1.支援事業 難病の子どもたちの療育に関する相談支援 2.情報交換 会報「気球」の毎月発行による情報発信、交換 3.諸行事 ・障害児者のサマーキャンプ「がんばれ共和国おいでんほうらい」の開催 ・サンタクロースの病院訪問、クリスマス会、お花見他
	12	中川希望塾 東三河予備校	人材育成講座 中川希望塾開催(東京) 予備校として、名古屋、東三河、また全国各地で展開している。

(続き)

カテゴリー	番号	団体	活動内容
子育て支援	13	特定非営利活動法人 愛知市民教育ネット (ASK-NET)	<p><市民講師ナビ事業></p> <p>1.市民講師派遣 (学校へ、知識・経験豊かな市民講師の派遣) 市民講師登録者：280名 派遣先学校数：47校 講座実施数：680講座</p> <p>2.情報紙「Sチャン」発行 年4回 1回6万部を愛知県内高校生などへ無料配布</p> <p><教育関係祭事の共催></p> <p>1.サマーセミナー3万人 2.オータムフェスティバル12万人</p> <p><行政委託事業></p> <p>1.文科省：「地域子ども教室推進事業」 2.経産省：「やきものまちなみ瀬戸におけるものづくり原体験を通じたキャリア教育の推進事業」</p>
	14	NPO法人ウイング設立準備室	<p>1.子どもゆめ基金事業 子ども達が職業人と触れ合う中でコミュニケーションを高め、将来の仕事を意識し夢や希望を膨らませ、自分の進路に対する目的・目標を明らかにしていくキャリア教育の一貫</p> <p>2.各種講座事業 キャリアアドバイザー講座 コミュニケーション講座 プレゼンテーション講座 コーチング&アサーティブ講座 公募申請書書き方講座 個別コミュニケーションカウンセリング等</p>
	15	豊橋市食生活改善協議会	<p>1.保健所からの委託事業 (産乳食講習会、糖尿病予防、料理教室)</p> <p>2.親子の食育料理教室</p> <p>3.地域の料理教室など</p>
	16	豊橋子育てネット ゆずり葉	<p>2004年7月16日 「豊橋子育てネットゆずり葉」誕生</p> <p>2004年10月1日 豊橋市における子育て情報誌「子育てハンドブック」を発行</p> <p>2005年3月15日 豊橋子育てネットゆずり葉セミナー 財団法人児童育成協会「子どもの城」下村一氏講演会「むすんで広がる子育て支援—地域でのネットワークの可能性を求めて—」</p> <p>2005年4月13日 豊橋子育てネットゆずり葉セミナー 「むすんで広がる子育て支援—地域でのネットワークの可能性を求めて—」に参加して 赤ちゃんボランティアの会 梅野恵子</p> <p>2005年9～12月 豊橋子育てネットゆずり葉セミナー 「むすんで広がる子育て支援—地域で子育て おやじの子育て—」</p> <p>2005年10月1日 2005年度版 豊橋市子育て情報誌「子育て情報ハンドブック 2005」を発行</p> <p>2006年2月28日 「子育てネットワークによる小・中学生交流事業」子どもの城 子育て支援基金独立行政法人福祉医療機構子育て支援基金助成事業「むすんで広がる子育て支援」—モデル事業報告—</p> <p>2006年4月19日 総会を開催</p>
外国人支援	17	特定非営利活動法人 A B T 豊橋ブラジル協会	<p>1.在住外国人に対する地域福祉にかかわる事業 ・出張ブラジル領事館・外国人情報窓口業務・外国人担当者セミナー・外国人のための税務相談会・日本語個別教室</p> <p>2.在住外国人に対する国際協力に関わる事業 ・翻訳事業・インターネット事業・ブラジル経済使節団来訪サポート事業・外国人収納対策業務など</p> <p>3.在住外国人に対する健全育成に関わる事業 ・外国にルーツを持つ子どものための母語保持教室・カエルプロジェクト・中学生のアフタースクール</p> <p>4.地域住民に対する国際交流に関わる事業 ・ポルトガル語教室・ホームステイ支援事業・ブラジルフェスタ・各種イベント参加</p>
	18	A.S.I.A NIPPON	<p>フィリピンにあるNGO団体CIWESTと連携して、デイケアセンター(多目的センター)の建設、運営事業を行なっている。</p> <p>(日本国内での活動)</p> <p>1.フリーマーケット、募金活動 2.フィリピンスタディツアーの実施 3.スポーツ振興事業</p> <p>(フィリピンでの活動)</p> <p>1.デイケアセンターの建設、支援事業 2.保健衛生活動 3.調査、研究活動 4.現地のNGOとの協力</p>

(続き)

カテゴリー	番号	団体	活動内容
歴史	19	姫街道の自然と史跡を守る会	1.姫街道、どんがめ等の道普請 2.姫街道における530運動 3.姫街道高山歴史文化郷創設計画の推進 4.姫街道・豊橋市最高所「坊ヶ峰」への合石設置 5.姫街道松並木を街路樹として復元 6.高山七曲がリヤマザクラ公園の整備 7.高山宿旅籠屋号名称板の現地への設置 8.高山一里塚の史跡指定推進 9.姫街道の講演、現地説明会、花観察会の開催等 【主な活動拠点】 姫街道周辺（三河側の弓張山系及び遠州地区も含む）
環境・景観	20	おせつ会	1.年間を通して、農園（あげみ園）に野菜や花を栽培する。 2.種まきから収穫まで、会員が協力して行う。 3.収穫祭・観賞会を季節ごとに行う。 4.収穫物は、地域住民の希望者に提供する。
	21	だいだらぼっちの会	1.不法投棄を防止するために「捨てられない環境づくり」をする。 2.石巻山の回りの地域の整備をして地域の活性化に貢献する。
	22	はしらなまず池「花の会」	1.市・県「花いっぱい運動方針協力活動」 2.「みどりの協会」より年3回花苗を頂き、花育・花植え替え活動を年間通して毎日朝・夕1回ずつ花壇2メートル×3メートル2ブロック 3.水やり、草取り、落ち葉ひろい
	23	姫街道「おもてなしの会」	姫街道や蛇穴近辺を安心安全に散歩できるよう、草刈りや道中の整備を行う。
	24	石巻西川町カタクリ山保存会	1.カタクリ山の草刈 2.枝打ち作業 3.遊歩道 など
	25	穂の国の森から始まる家づくりの会	1.山の見学会、植林、下草刈り、枝打ち活動 2.教室の空気はビタミン材運動 など
	26	多米園芸クラブ	1.年3回多米小学校の花壇の花の植え替え 2.毎週花壇の水やり・草取り・話し合い 3.年1回地区市民館まつりにおいて花の苗の販売
	27	石巻山・紅の会	草刈作業、植樹、小学校の野外教育、その他への協力一般
	28	豊川流域圏通貨バンク協議会	環境保全に関する活動全般及び関連する活動、リーディングプロジェクト（モデル事業）の推進 1.有機農業・減農薬農法の推進による農地からの河川・海への水質汚濁負荷の軽減 2.森林（人工林）の手入れ 3.河川の水質改善、河川・海辺環境の再生 4.野生動植物の生息・生育環境及び景観の保全 5.環境美化、環境教育の促進
趣味・趣向	29	豊橋アナログゲーム会	豊橋市民センターカリオンビル棟や豊橋市内の施設さまを借りて、アナログゲームを遊べる会を開催したり、地域のイベントなどへ参加している。
	30	一輪の花	おしゃべり、トランプ、よんろの碁、歌、読書、体操、手芸など。
	31	子ども三味線楽団『三河童子』	1.週に一度の教室を開く 2.地域の行事（盆踊り・文化祭）への参加 3.イベント・ボランティア等への参加
	32	ながいわた絵手紙サークル	1.メンバーは約40人。「気まま、気軽に参加」が信条で、受付もなく、プライベートの干渉もなく、原則無料。ワイワイがやがや楽しく活動しています。 2.定例会は月2回第1・第3火曜日13:00~16:00 場所は東部老人会館。世話人が講師代わりで、色鉛筆・水彩・水墨・顔彩等、何でも可。描き方も自由。へたくそ大歓迎。 3.発表会は年2回（春と秋）。4月と11月に町内喫茶店（兼画廊）で実施 4.出前作品展は、校区文化祭、地域の福祉施設、町内のBK等で実施。 5.スケッチ会を5月に岩田運動公園で実施。 6.ふれあい食事会を年4回開催。質素なお汁粉会、おかゆ会、おにぎり会、ラーメン会などで、芸達者の余興、ボランティアの大正琴の演奏などがあり、楽しい仲間作りのためのとても大事な事業である。
	33	穂の国 風流太鼓	全身を使い打ち込む和太鼓。叩けば音が鳴る和太鼓は、どの年代の方でも簡単に楽しむことができる。今まで楽器の経験が無い方もスポーツ感覚で音楽を奏でる事ができる。
	34	教育科学娯楽マジックグループ「ぎっちょまん」	簡単だけど意外に難しく、万人がその場で夢中になれるシンプルかつユニークなオリジナル娯楽を提供する。 活動内容はギャグ満載のトークと(1)ステージ（大道）ショー(2)ブース（出展）の2タイプ。観客参加型のニューアトラクションは安全、安心、清潔そして教育、科学的内容も含んでいる。 豊橋まつり、吉田城夏まつりなど参加。

(続き)

カテゴリー	番号	団体	活動内容
趣味・趣向	35	豊橋なかおやこ劇場	〈サークル活動〉 子どもの日常の友達とサークルを作り、遊びを重ね合い、豊かな仲間づくり、地域づくりを進めている。 〈文化活動〉 児童劇、人形劇、音楽などの鑑賞を定期的に行う例会を通し、ワークショップ・事前交流会等を創造団体やサークルで作りたい、子供達の育ちを話合う。
	36	原町笛太鼓保存会	1.原町の笛太鼓の保存・継承に向けて、演奏の習得に関すること。 2.原町の祭礼およびイベント等における笛太鼓の演奏に関すること。
	37	木好きらく会	会員相互の技術交流を行う。 作品の展示即売会を年2回程度行う。 子供工作教室を年数回行う。 各地の親子ふれあい教室のサポートをしていく。
イベント	38	地域カフェたけのご	毎月1回定期的に「ちいきカフェ」を開催する。ちいきカフェでは、昼食を共にすることで高齢者から子どもから壮年までが、食材の確保、調理、片付け、話し合いという自然な交流の機会を得ることができる。
	39	ふるためネット	「ふるためあそびのがっこう」というイベントを年間数回開催する。
	40	みなと塾	1.前芝海岸（三河湾）の清掃、生物調査、環境学習により三河湾を昔のような豊かなきれいな海にするためのきっかけ作りとする。（多くの人に関心を持ってもらうために） 2.前芝の昔のにぎやかさを多くの人に知ってもらい、今の活気のない海のままではいけないことを広く認識してもらうため昔の写真、資料収集をしている。 昔と今の対比写真展なども開催している。 3.前芝探検、前芝ウォーキングなどを開催 4.機関誌「みなと塾」の発行をし、地域活性化の情報収集をしている。
	41	LOVE PORT TOWN 実行委員会	1.豊橋港フェスティバル 2.T o y o はしごナイト 3.オクトーバーフェスト 4.クリスマスマーケット
	42	エコミュージアム研究会	地域の方々と連携し、ふるための魅力を体感してもらうイベントを実施している。 ふるためを地域の人々の交流・活動の拠点として利用されるよう、ネットワークづくりに取り組んでいく。
	43	花園街づくりネットワーク	1.イベントごとに集まり、楽しいイベントを企画する。 2.駅周辺が一つの街として楽しい街、優しい街になる様にネットワークを形成する。
	44	どい〜じゃん豊橋ふるきやら応援団	子ども〜大人に幅広く喜んでもらえる作品、体験講座なども企画し、公演の宣伝・PR・当日（公演）までの準備を主とする。
	45	中野小おやじの会	1.支援事業 夏祭り、資源回収など、中野小学校で行われるイベントなどのサポートを行う。 2.主な活動 おやじの会主催の、学校お泊り会、もちつきなど 南部南陽ブロックおやじの会の事業への参加など
その他	46	天伯団地「ささえ合い活動 ひだまりの会」	1.居場所づくり第二、第四土曜日茶和会 第二金手芸教室 第三金カラオケ教室 2.お互いさま活動で日常的に困っている人の支援
	47	二川茶屋	1.毎週土日に開店して、お店に立ち寄った方々にお茶の無料接待とおしゃべりの場所になっている。 2.七夕の行事に参加。裂き織りコースター作りを指導している。 3.町のイベントに参加してにぎやかな盛り上げ隊になっている。
	48	いるかビレッジプロジェクト	エコビレッジづくりパーマカルチャーワークショップ、社会問題の勉強会・上映会。 地域イベントw h o o d oまつり、醤油と味噌作り、ハウス園芸の農業体験、ソーラーパネル発電機、コンポストトイレ、笑いヨガ、フットケアサロンなどエコビレッジ・サステイナブルなライフスタイル。 エコビレッジ内（いるカフェ・ちゃいるーかの森親子園）、赤ちゃんがいるデイサービス笑笑、障害者就労継続支援A型事業所Minaka、NPOと一般社団と企業とボランティア有志のコンソーシアム。
	49	日本を明るくするプロジェクト	11月11日・12月12日など毎月、月と同じ日付の日に「ライトミーティング」という参加型講聴会を開催している。（豊橋は中継地で、本会場は東京である） 地域を、日本を、地球を明るく平和にしていくために、一人一人がどのような意識を持って日々を過ごしていくことが有効であるのかを一緒に考えていく。 毎回、著名な豪華パネリストをお招きし、多方面から貴重なお話を聞くことができる。
	50	豊橋シニアネットパソコンクラブ	1.会員のパソコン勉強会を定期的に行う 2.会員相互に会話を楽しみ、諸々の情報の交換 3.認知症予防に努めることが自分のみならず、社会のため、人のためになっていることを認識し活動する
	51	公文友和会	自治会と協力し、奉仕活動・行事を行っている。 1.盆踊り、青バト校区巡回、校区運動会参加、校区防災訓練参加 2.町内会員の刃物とぎ、公文公民館の障子の張替え
	52	Make the heaven	海外支援ボランティア、環境問題を考える等、そのほか生活に関すること全般

(続き)

カテゴリー	番号	団体	活動内容
その他	53	豊橋リサイクル運動市民の会	フリーマーケットの開催 育児子供用品を主体に物と心の交流の場となっている
	54	豊橋観光ボランティアガイドの会 ほの国豊橋案内人	豊橋駅構内「とよはし情報プラザ」で毎日午前中常駐し、観光で豊橋を訪れる方々をご案内している。 案内料は無料。ただし案内に要する経費（交通費、食事代、入場料など）は依頼者のご負担。 規模の大小を問わず、観光のほか、催しもの、大会や会議のアフターコンベンションなども相談に応じ対応する。
	55	豊橋陸軍墓地清掃奉仕会	1.豊橋陸軍墓地の清掃奉仕活動 2.豊橋陸軍墓地の保全に係る施設管理者（豊橋市資産経営課）との協議 3.勉強会、懇親会、講演会、展示会の開催 4.慰霊、追悼行事の開催 5.顕彰行事の開催 6.前各号に付帯する一切の事業
	56	野依台一丁目自主パトロール隊	1回の町内巡回は約5～7名で拍子木を打ち鳴らしながら、「戸締り用心・火の用心」と掛け声をかけ、約1時間巡回している。 野依台一丁目の活動から広げ野依校区まで広がっている。
	57	吉田方校区納涼まつり実行委員会	昼は吉田方小学校体育館でダンス等の発表。 グラウンドで模擬店。 夜は盆踊り。
	58	東三河きゅうきゅうくらぶ	このAED（自動体外式除細動器）は、皆さんの誰でもが使うことのできる、人の命を救う応急手当の器具である。その使い方、応急手当や予防方法などについて講習会を行っている。 東三河きゅうきゅうくらぶは、名まえのごとく東三河全域を活動エリアとし、「日本で一番応急手当を身に付けている人が多い地域」となる、大きな理想を掲げて活動していこうと思っている団体である。そして、市民マラソンなどいろいろなイベントに救護スタッフのボランティアとして積極的に参加していく。

(資料:東三河市民活動情報サイトどすごいネット)

豊橋市都市計画マスタープラン 2021-2030（資料編）

令和3年3月策定

発行◎豊橋市

編集◎豊橋市都市計画部都市計画課

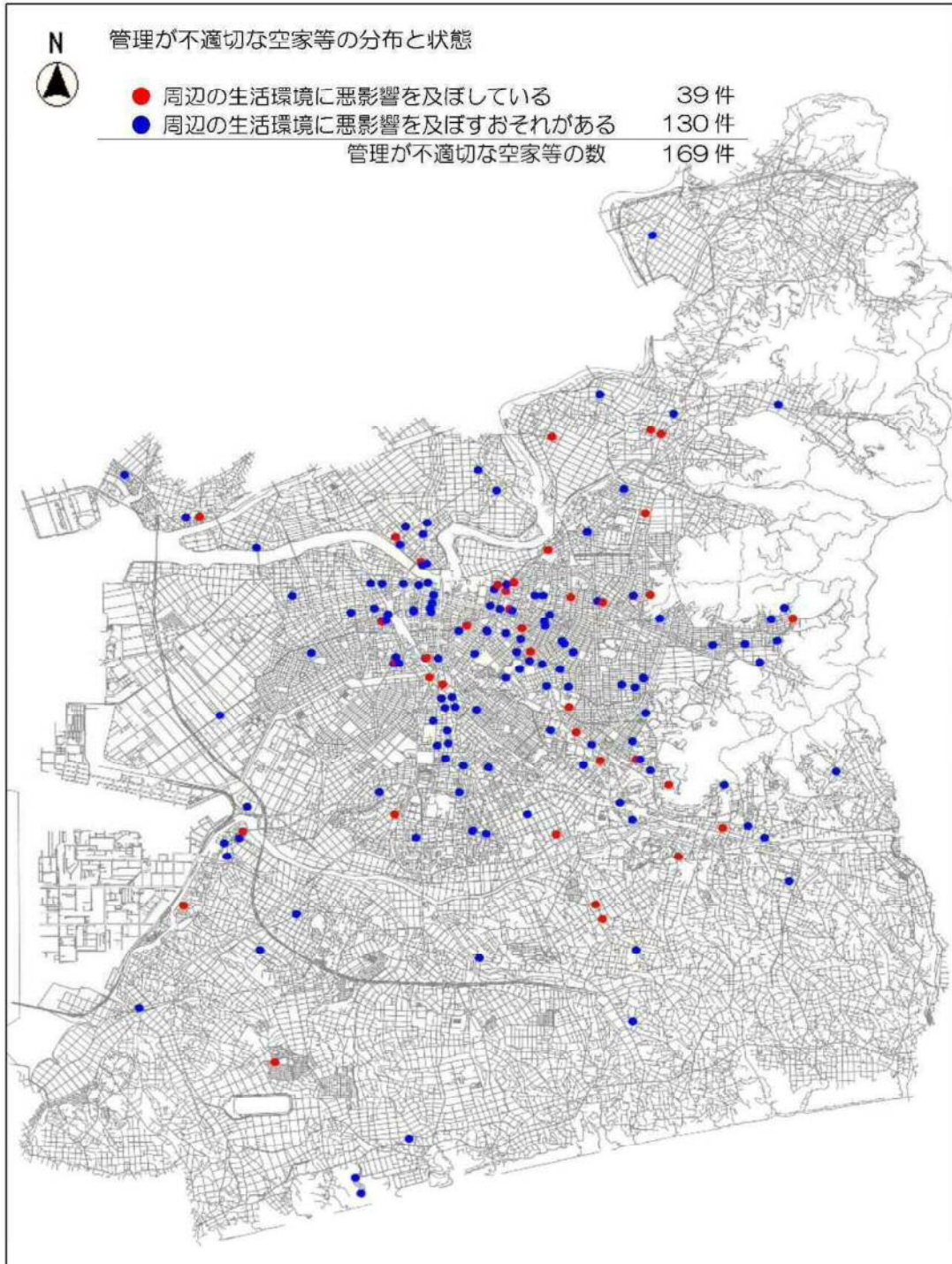
〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町1番地

電話：0532-51-2622

豊橋市都市計画マスタープラン
2021-2030

【 資 料 編 】

図表 管理が不適切な空家等の分布



(資料:平成 29 年豊橋市空家等対策計画)